

文中に出てくる雑誌は、すべて南館1階の雑誌コーナーに並んでいます(タイトルのローマ字順)。現在は主に今年発行の巻号が利用可能で、それ以前のバックナンバーは秋以降の全館リニューアルオープン時に利用できるようになる予定です。

私のすすめるこの1冊

角野 容子 (図書館スタッフ)

「私のすすめるこの1冊」番外編 ～雑誌愛読月間によせて～

雑誌愛読月間というのをご存知ですか?日本雑誌協会が7月21日から8月20日まで実施しているもので、さまざまなキャンペーンなどが行われています。ということで今月は、図書館の雑誌担当職員として、図書館の雑誌の一部をご紹介しますと思います。

みなさんは雑誌をどのように使うでしょうか。雑誌はそんなに読まないよ、という方がいれば、それはもったいない。例えばもうすぐ夏休み。『関西ウォーカー』や『Leaf』などの地域情報誌で遊びに行く場所を決めたり、『JR時刻表』で夏の旅行の計画を立てたりというのも楽しいものです。絵本やデザインが好きなら、絵本専門誌の『MOE』や、『BT:美術手帖』、『藝術新潮』などをチェックしてみたり、映画や音楽が好きなら『キネマ旬報』や『音楽の友』、『レコード芸術』などを读んだり、自分の趣味にあったもので息抜きをするのもいいでしょう。また、『文藝春秋』の3月号と9月号には直前の芥川賞受賞作品が全文掲載されるなど、小説好きなら文芸誌も要チェックです。

そしてもちろん、自分の勉強に必要な分野のもの、どんどん利用してください。書店で売っているような比較的読みやすいものから、学会等が発行している学術雑誌まで、幅広くそろえるようにしています。例えば幼児教育分野では、『月刊保

育とカリキュラム』や『新幼児と保育』などのにぎやかな表紙の雑誌があるかと思えば、『発達心理学研究』や『パーソナリティ研究』などで、子どもの発達に関する学術的な論文を読むこともできます。ぜひ自分のお気に入りの雑誌を見つけて、定期的にチェックしてみてください。

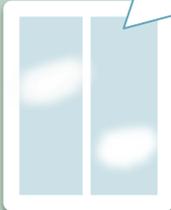
しかし最近では、雑誌論文を検索できるデータベースが発達し、多くの雑誌の中から自分に必要な論文をすぐに見つけ出せるようになってきています。オンラインで読める電子ジャーナルも増加傾向にあり、ますますインターネットが便利な時代です。その中で、あえて紙の雑誌をめくる意義はなんでしょうか。こういう議題に関しては月並みな回答ですが、やはり「ブラウジングによって得られる、予期せぬ発見・驚き・面白さ」だと私は思います。例えばそれは、目次を開いた時に入るとさまざまな論文の研究テーマであったり、写真と見出しに心惹かれて目を通したコラムの内容であったり…。それはもしかしたら、今の自分には直接必要のないものかもしれません。しかしだからこそ、インターネットで調べるだけでは出会えない新しい興味への入り口であり、「最高にぜいたくな」雑誌の楽しみ方なのです。今年の雑誌愛読月間は、ぜひ素敵なぜいたくをお楽しみください。

図書館が新しくなりました!! ~南館2F 編~

今回は、南館2Fについてご紹介します。
 今まで北館2階の各閲覧室に分かれていた、
 文庫、新書、各コレクションなどがこの南館
 2階に集まっています。



このフロアの閲覧席は、窓から眺める景色がおすすめです。緑が多く、見上げると空の移り変わりも楽しめて、学習や読書の疲れを癒やしてくれますよ。



図書・参考図書
440~999 番台



北側の閲覧席からは明るい中庭を一望できます

←西館へ
 (図書・参考図書
 000~430 番台)

日下部文庫

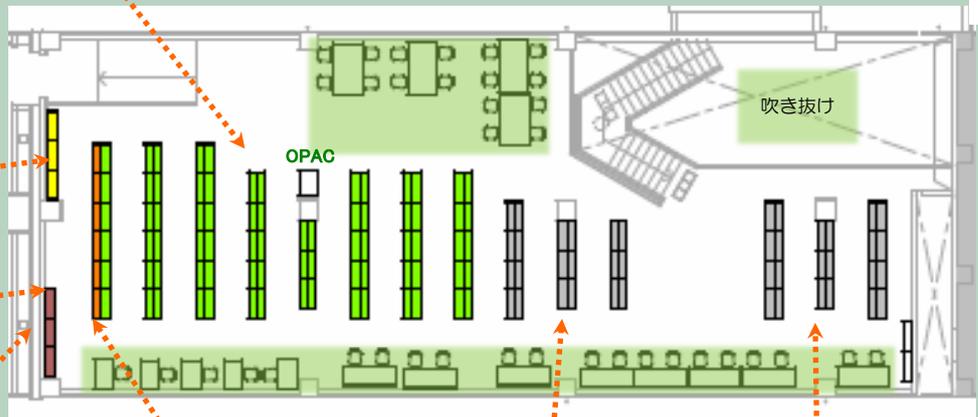
上海師範学校

京都コーナー

コレクションの森

新書

文庫



南側は個人席エリア。集中していて目が疲れたら、ちょっと顔を上げて休憩!



新書って、新書コーナーにある分だけなの?

いいえ、「新書」と呼ばれる形態の図書は、西館・南館の開架(図書・参考図書のコーナー)にもあります。新書コーナーにある新書は、主に2006年までの継続購入分で、2007年以降の新書については開架の各分類番号のところに並べています。

「コレクションの森」って何?

「コレクションの森」とは、一定のテーマに沿って集められた資料のコーナーです。現在は、「知財 GP」(著作権等の関連資料)、「エネルギー」、「ライフスキル」という3つのコレクションがあります。



お気に入りの座席を見つけて読書を楽しんでください!

夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行いますので、どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	7月6日(土)～9月3日(火)	7月20日(土)～9月18日(水)
返却期限日	平成25年10月3日(木) ※前期卒業・修了予定者は 平成25年9月10日(火) となります。	

※ 視聴覚資料は除きます。

※ 長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。

図書館リクエストウィークが終了しました

6月24日(月)から7月5日(金)にかけて図書館リクエストウィークを実施し、74件のリクエストをいただきました。たくさんのリクエスト、ありがとうございました。後日、みなさんの書かれた推薦文とともに、図書館内に展示する予定です。また、次回は10月頃を予定しておりますので、ぜひ次の機会もご利用ください。

桃山中学校生が職場体験実習に来ました

7月2日(火)から4日(木)にかけて、附属桃山中学校から職場体験実習の生徒を2名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務の他、図書の受入やラベル装備、他大学からの文献複写の受付処理など、普段は目にする機会のない図書館業務についても体験してもらいました。また、カウンター横に斎藤文庫の紹介コーナーを設置し(写真)、図書の選定から紹介文の作成、レイアウトまで、自分たちで考えて作りました。 ※特設コーナーの設置は終了しました。

また、8月5日(月)から6日(火)にかけては、附属特別支援学校の職場体験実習の受入(2名)を行いますので、みなさまご協力お願いいたします。



教育資料館 まなびの森ミュージアムからのお知らせ

2013(平成25)年には、京都市から“京都を彩る建物や庭園”に認定され、認定銘板が贈られました。常設展示もしていますので、ぜひご覧ください。

※京都を彩る建物や庭園：京都の財産として残したいと思う建物や庭園として市民から推薦があったもののうち、特に価値の高いものを認定したものです。 <http://www.city.kyoto.jp/irodoru/irodoru.html>



認定銘板「彩」の揮毫者
杭迫 柏樹(くいせこ はくじゅ)氏

障害児の母親の就労と祖父母による援助

丸山啓史

京都教育大学紀要. 2013, No.122, pp.87-100.

日常的に他者のケアを必要とする障害児を育てている母親にとって、就労は困難なものになりがちです。どうして働きにくいのか。どうすれば働くことができるのか。それを明らかにして発信するためのインタビュー調査をもとに、本論文をまとめました。

59人の母親の語りから改めて強く実感したことは、“家族依存”の現実です。インタビュー調査からは、放課後のケア、夏休みのケア、学校への送迎、療育機関への通園など、さまざまな役割を祖父母が担っている実態が示されました。そうした役割を祖父母が担うことによって、母親の就労が可能になっている場合が多いのです。近年では障害児のための学童保育的活動が広がり、ヘルパーと放課後を過ごす子どもも増えていますが、それでも結局、祖父母による援助の有無が母親の就労を大きく左右していることがうかがえます。

母親の就労が祖父母による援助に支えられている状況は、障害児の母親だけでなく、年齢の低い子どもを育てる母親には少なからずみられるものでしょう。しかし、子どもが大きくなっても、祖父母が高齢になっても、母親や祖父母に求められる役割が変化しにくいところに、障害児の母親をめぐる独自性があります。祖父母の健康状態の悪化によって就労できなくなった母親もいますし、「祖父母が倒れたら仕事は続けられない」という不安や不安定さを抱えながら働いている母親は少なくありません。

近頃は「家族の絆」が盛んに語られ、家族の助け合いが強調されますが、社会的に強いられた“助け合い”は、「絆」というより「鎖」です。子ども、親、祖父母をそれぞれ不自由にします。本論文の基底にあるのは、「障害児者のケアを家族に押しつけるのは終わりにしなければ」という問題意識です。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 122号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

●京都教育大学附属図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード→



開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2013年8月							2013年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							
4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
							29	30					

8/3-9/30 夏季休業
8/14-8/16 夏季一斉休業

京教図書館 News No.155 (2013年8月号)

発行日:平成25年8月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp